

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 6. 15

下水道機構の『新技術情報』 第193号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

沖縄ではわずか22日間で梅雨が明けた一方で、九州各地では大雨に見舞われています。土砂崩れ、土石流など甚大な被害が発生しているようです。被害に遭われた皆様へお見舞い申し上げます。今日も九州南部では記録的な大雨に見舞われるようです。該当地域の皆様、どうぞお気をつけください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第193号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・6月の技術サロンは、国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部下水道研究官 榊原 隆氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、6/16(火)に評議員会を6/19(金)に審査証明委員会を開催します！

■Tea Break

・退任にあたって (理事長 石川忠男からの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今回は、まる子が鳥越祭りで人生初の御神輿を担ぎました！

■国からの情報

・6/12付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●6月の技術サロンは、国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部下水道研究官榊原 隆氏をお迎えして開催しました。

今回のテーマは、「下水道技術ビジョンーその狙いと役割」でした。榊原氏は昭和

60年4月に当時の建設省土木研究所下水道研究室に入省され、以降、現職に至るまで、下水道の最先端技術に関わる業務をはじめ、下水道事業に関する幅広い経歴をお持ちです。講演内容は、現在国土交通省と国土技術政策総合研究所が連携して検討が進められている「下水道技術ビジョン」について、その背景や検討体制と今後の予定、下水道技術ビジョンの狙いと役割についてご説明いただきました。下水道技術ビジョンのロードマップには、老朽化対策や浸水対策など現在の下水道が抱える様々な課題に対し、20年後の長期目標を念頭に10年間の技術開発の方向等を示したうえで、今後の技術開発を推進・誘導することを目指したものであるとの内容でした。下水道事業に関わる自治体や各企業にとって大変興味深い内容ということもあり、聴講者からは多くのご質問、ご意見をいただき、大盛況のサロンとなりました。

さて、次回のサロンは、7月9日（木）17:00から18:00。ゲストは横浜ウオーター株式会社技術部門（下水道担当マネージャー）小林 史幸氏をお迎えして、「上下水道一体となった国内外事業展開の取組 ～信頼されるパートナー企業として～（仮題）」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●平成27年6月16日（火）13:30～15:00

行 事：第6回評議員会

場 所：機構8階 特別会議室

内 容：平成26年度決算関係書類の承認に関する件 ほか

●平成27年6月19日（金） 9:30～ 17:30

行 事：平成27年度 第1回建設技術審査証明委員会

場 所：機構8階 特別会議室

○平成27年6月25日（木）

行 事：平成27年度技術マニュアル活用講習会

時 間：【午前の部】9:45～12:00／【午後の部】13:30～15:45

※午前の部、午後の部とも講習会の内容は同じです。

場 所：機構8階 中会議室

対象マニュアル：

- (1) 下水道用マンホール改築・修繕工法に関する技術資料
- (2) 管きよの長寿命化を目的とした部分改築工法の開発に関する技術資料

※<http://www.jiwet.or.jp/trainings/manual-seminar/manual-program>

○平成27年7月9日（木） 17:00～18:00

行 事：第339回技術サロン

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2015. 6. 12 付 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

- 「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」募集締切は6月22日です【国土交通省】
- 第8回いい川・いい川づくりワークショップ(8/29・30開催)参加募集について【国土交通省】
- 「日本トイレ大賞」を募集しています【国土交通省】
- 第13回リン資源リサイクルシンポジウムの開催案内【リン資源リサイクル推進協議会 (PRPG) 事務局】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」募集締切は6月22日です【国土交通省】

現在、国土交通省下水道部では、平成27年度「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の募集を行っています（募集締切：6月22日）。×切まであとわずかですが、是非積極的なご応募をお待ちしております。

詳細は、以下のHPをご覧ください。

→（報道発表）平成27年度（第8回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の募集について

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000269.html

→循環のみち下水道賞ホームページ（応募要領、応募調書、過去の受賞団体等）

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/crd_sewage_tk_000085.html

●第8回いい川・いい川づくりワークショップ(8/29・30開催)参加募集について【国土交通省】

8月29日(土)・30日(日)に東北工業大学(八木山キャンパス)で開催される「第8回いい川・いい川づくりワークショップ(主催:いい川・いい川づくり実行委員会)」の参加募集が始まりましたのでお知らせいたします。募集要項、応募申込書は下記HPからダウンロードできます。(応募締切:7/20、※30件を目安に募集)これこそ“いい川”・“いい川づくり”という事例や事業、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いから、この大会は開催されています。過去に下水道分野も表彰されておりますので、奮ってご応募ください。詳細は、下記HPをご覧ください。

<http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

●「日本トイレ大賞」を募集しています【国土交通省】

内閣官房では、現在、平成27年度「日本トイレ大賞」の募集を行っています(募集締切:6月30日)。日本トイレ大賞とは、トイレ空間やトイレに関する活動の好事例を世の中に広く紹介するもので、公募の上、特に優れた事例を表彰します。災害時のトイレ確保への取組など、地方公共団体や下水道企業関係の皆様の取組については是非積極的にご応募下さい。なお詳細は、以下のHPをご覧ください。

→「日本トイレ大賞」トップページ

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kurashinoshitsu/hyosho/>

●第13回リン資源リサイクルシンポジウムの開催案内【リン資源リサイクル推進協議会(PRPC)事務局】

<開催案内>

http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/150608_13th_PRPCsymposium.pdf

<参加申込書>

http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/150608_13th_PRPCsymposium.doc

・日時:平成27年7月10日(金)

シンポジウム 13:00~16:30

意見交換・交流会 17:00~19:00

・場所:シンポジウム

東京証券会館8Fホール(東京都中央区日本橋茅場町1-5-8) <http://www.ts-kaikan.co.jp/>

意見交換・交流会 東京証券会館7F「ホテルオークラ レストラン ニホンバシ」

・参加費:シンポジウム:協議会会員・学生 - 無料、一般 - 4,000円

意見交換・交流会:協議会会員・一般ともに - 5,000円

(参加費は、当日会場にて頂戴いたします。)

・次第(案)

1. 開会挨拶(13:00~13:05) リン資源リサイクル推進協議会 会長

大竹 久夫

2. 平成 27 年度 リン資源リサイクル推進功績者表彰 (13 : 05~13 : 10)

3. 来賓挨拶 (13 : 10~13 : 25) <予定>

農林水産省 生産局 農産部 技術普及課 生産資材対策室

経済産業省 製造産業局 化学課

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課

環境省 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

4. 講演・事例発表 (13 : 25~15 : 25 、30 分/題、順番等変更の場合あり)

(1) 「リントル回収物を活用した藻場再生」(仮題)

創価大学 工学部 環境共生工学科長・環境共生工学専攻長 教授 戸田 龍樹

氏

(2) 「リン肥料としての牛炭化物」

ホクレン農業協同組合連合会 資材事業本部 肥料農薬部 特任技監

酪農学園大学 名誉教授 松中 照夫 氏

(3) 「下水汚泥焼却灰のリン酸製造原料化」

公益財団法人愛知水と緑の公社 下水道部 日光川下流事業所

施設管理主査 後藤 康明 氏

(4) 「豚ふん堆肥からのリン回収」(仮題)

日立造船株式会社 環境事業本部 新事業・新製品推進室 担当部長 上田 浩三

氏

— 休憩と意見交換・交流 20 分間 (15:25~15:45) —

5. 総合討論 (15 : 45~16 : 25) 「多様なリン資源リサイクルの事業化に向けて」

(仮)

コーディネーター：リン資源リサイクル推進協議会 会長 大竹 久夫

パネラー：各講演者

6. 閉会挨拶 (16 : 25~16 : 30) リン資源リサイクル推進協議会 副会長

日本肥料アンモニア協会 理事 事務局長 成田 義貞

7. 意見交換・交流会 (17 : 00~19 : 00)

会場：東京証券会館 7F 「ホテルオークラ レストラン ニホンバシ」

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

=====

◆下水道管：老朽化で陥没事故多発 10年で4万8000件（下水道法改正）〈6/6 毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/select/news/20150606k0000e040231000c.html>

◆国交省／改正下水道法運用ルール案／民間雨水貯留施設、支援対象は100立米超 〈6/5 日刊建設工業新聞〉

<http://www.decn.co.jp/?p=38476>

◆「水源から蛇口まで」実感 上下水道施設で見学ツアー 宇都宮市 〈6/8 下野新聞〉

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/politics/news/20150608/1983545>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20150421/>
